

娘の未来に、
私が今できること



小雪

子宮頸がんは、予防する方法があります。

子宮頸がんは、
おもにHPV(ヒトパピローマウイルス)
の感染が原因の疾患です。

罹患者数：毎年
約**10,000**人

死亡者数：年間
約**2,700**人

20~30代でも罹患

国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録/厚生労働省人口動態統計) 全国がん罹患データ(2016年~2021年)/全国がん死亡データ(1958年~2024年)

10代からのHPVワクチン接種と、20歳を過ぎたら加えて定期的な検診が大切です^{※1}。

10代から HPVワクチン 2回、または3回接種で完了^{※2}

20歳を過ぎたら 定期的な
検診

定期接種の公費助成(原則自己負担なし)対象者^{※3}

標準接種年齢^{※4}



2025年度に高校1年生相当の女子が公費でHPVワクチンを
接種できるのは2026年3月末までです。

春休み、医師に相談してみませんか？

20歳を過ぎたら、
子宮頸がん検診を
定期的に受けましょう。



※1: HPVワクチンと検診で子宮頸がんを100%予防できるわけではありません。
 ※2: 接種時の年齢やワクチンの種類により、2回もしくは3回の接種が必要です。
 ※3: 2025年度小学校6年生~高校1年生相当の女子。
 ※4: 標準的な接種期間は、中学校1年(13歳になる学年)の女子となっています。

詳しくは、[もっと知りたい](#) 子宮頸がん予防 で、ご確認ください。

子宮頸がん予防 

